

小学校だより

Vol.133



「校長先生！梶山小学校に来る前は何をしていたの？」

校長 森和久

タイトルのように子どもたちからよく聞かれます。保護者の方ははじめ、いろいろな方から、質問いただくことも多々あります。そこで、恐縮ですがこの場をお借りして、いくつかの質問にお答えしたいと思います。いわゆるFAQです。

Q 梶山小学校に来る前には何をしていたか？

A 平成二十七年度は名古屋市立小学校の校長をしていました。その前の八年間は、名古屋市教育委員会で部長、課長などをしておりました。さらにその前は、市立小学校の校長、教頭、教育センター指導主事、第一赤十字病院の病院内学級の担任をしていました。そしてその前は、普通小学校の教員をしていました。三十五年間教育に関わって、いろいろな経験をしていますので、梶山小学校で生かしていきたいと思っています。

Q どうして梶山小学校に来たのですか？

A 梶山女学園大学教育学部からお誘いをいただき、本年度からお世話になることになりました。

た。小学校の校長は、大学の教授の兼務として務めております。

Q 大学では何を教えているのですか？

A 「国語の指導法」「教職論」などを教えております。よい教師になるためにはどうしたらよいか、よい国語の授業をするにはどうしたらよいかということをお研究しておりますので、梶山小学校から学ぶことも多いと思っています。

Q 梶山小学校をどんな学校にしたいですか？

A 変化がますます加速する世の中です。「これまで通りに行けばいい」「誰かの言っていることにただ従っていればいい」ということでは通用しません。自分の考えをしっかり持って、主体的に判断し、行動することが大切です。と同時に、一人の考えには限界がありますから、多様な考え、異なる考えをうまく融合させ、協働することも大切です。自立するとともに協働することができるとともに協働する学校にしたいと思っています。そのためにも教育活動をさらに工夫改善していきたいと考えております。

ます。

Q 女子ばかりで違和感はありませんか？

A 全くありません。目の前に一人の人間として子どもがいるということが全てです。その一人一人の子どもたちをいかに伸ばすかということに力を尽しておりますので、特定の性の不在が気になるということはありません。ただし、子どもたちを伸ばすためには、性差に配慮することは必要であると思っています。だからこそ女子教育の伝統に培われた本校の教育のあり方は意義があると思っています。

Q 最後にPTAのみなさんに一言どうぞ。

A 学校の教育に理解を示し、協力していただけるPTAのみなさんに心から感謝いたしております。すばらしいPTAの皆さまからといって安易に甘えることなく、私たち職員一同も自立・協働しつつ、皆さまとの信頼関係をさらに強くして参りたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

特集 ここ1年間の国際交流を振り返って P2

学期のトピックス P3 / 委員会・部活動報告 P4 / 学期の記事 P5

学年トピックス P6~P17

PTA P18、P19 / 職員の諸活動・学園トピックス・編集後記 P20

CONTENTS